

## 平成30年産水稻の8月15日現在における生育状況（大阪府）

### － 生育は「平年並み」 －

- 1 田植最盛期は、苗の生育が順調であったこと及び用水が確保されたことから「平年並み」となった。
- 2 生育は、6月の気温が低めであったこと及び平成30年7月豪雨の影響により緩慢となったものの、7月中旬以降は高温・多照に経過したことから、分けつは旺盛であった。  
このことから、平年に比べ、草丈は「やや短い」、茎数は「やや多い」となり、生育は「平年並み」で推移している。
- 3 出穂済面積割合は、27%で「平年並み」となった。
- 4 被害は、平成30年7月豪雨により一部ほ場で、冠水、土砂流入及び流出・埋没が発生した。また、山間部では獣害等がみられる。

図 大阪府の生育状況（8月15日現在）



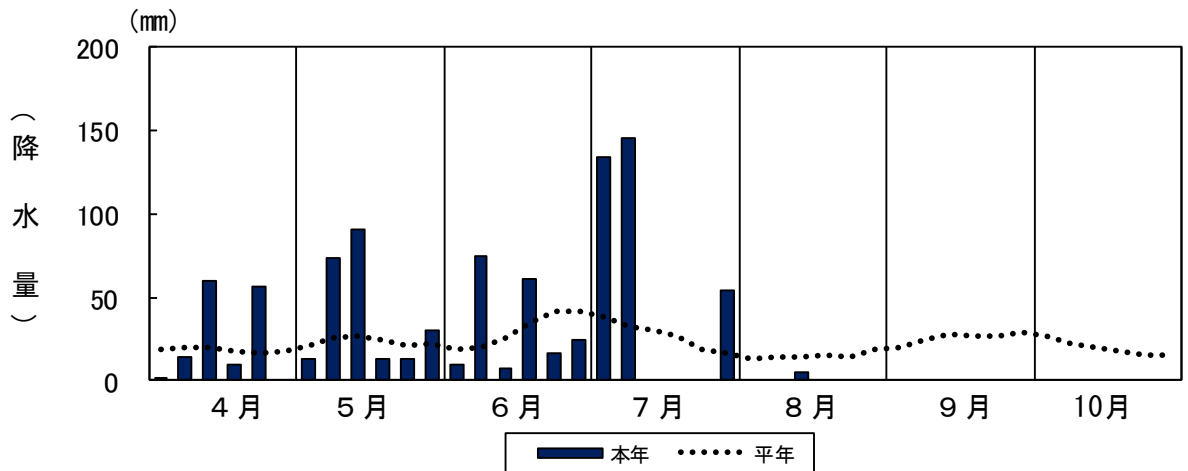
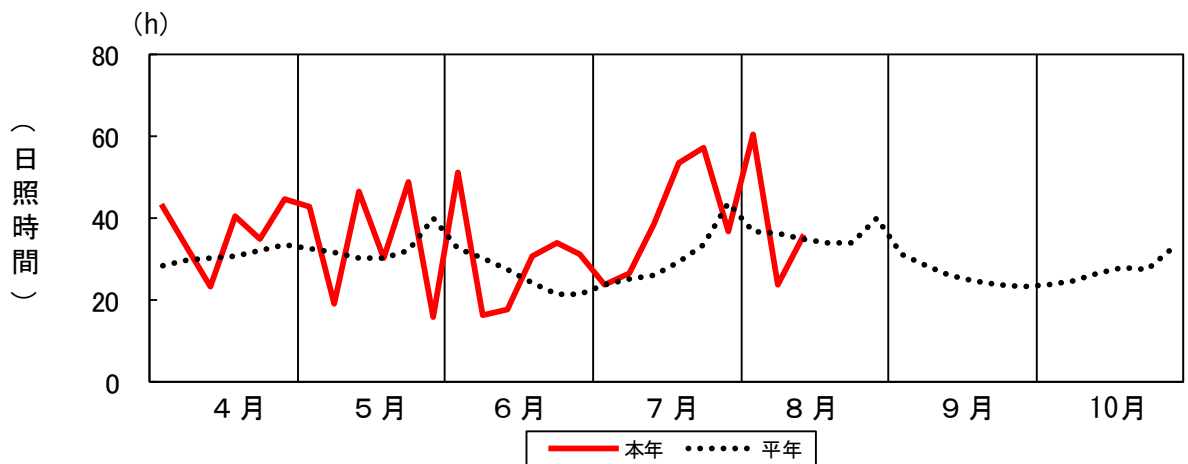
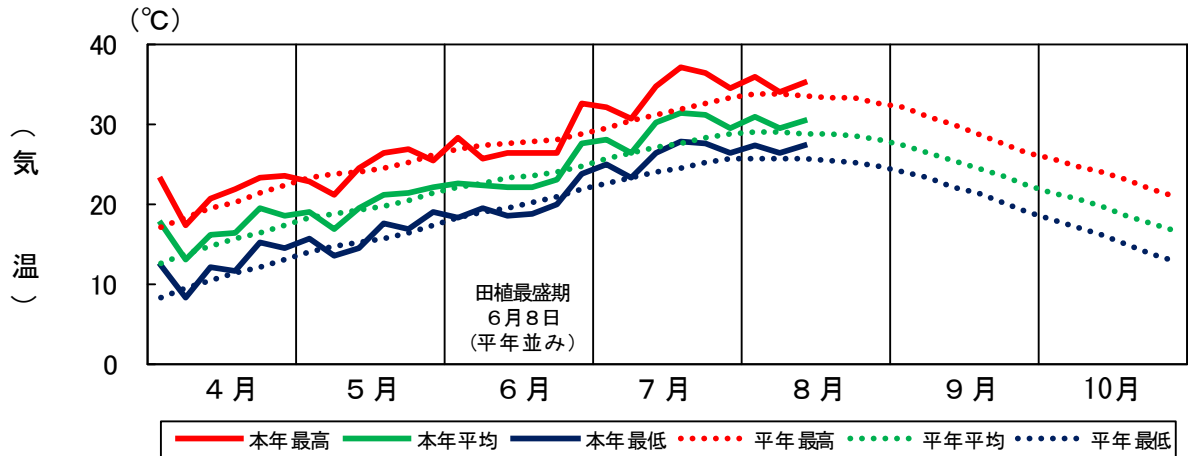
- 本調査の生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
- この資料は、「平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び生育状況（近畿）」（平成30年8月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

大阪府（大阪市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期の最盛期は、府平均の期日である。

なお、( )内は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 大阪府拠点 統計チーム

電話：(代表) 06-6943-9691 内線 238

(直通) 06-6941-9659

FAX： 06-6944-1208